



第 190 号

令和2年(2020年)1月31日
練馬区教育委員会
練馬区豊玉北6-12-1
☎5984-5609
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/index.html>



新しい時代から始まる新しい教育

外国語活動・外国語科

グローバル化が急速に進展している社会において、子供たちには将来、外国語によるコミュニケーション能力を必要とする様々な場面が想定されます。

令和2年度からコミュニケーションを図るための基礎となる資質・能力を育成するため、3・4年生で外国語活動が、5・6年生で外国語科の授業が、全小学校で始まります。



◎「外国語活動」と「外国語科」の違い

外国語活動	体験的な活動を行い、「聞くこと」「話すこと」を通して、外国語に慣れ親しむことを目標としています。年間35時間程度行います。
外国語科	「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」について、基礎的な技能を身に付けることを目標としています。年間70時間程度行います。

プログラミング教育

子供たちが将来、どのような職業に就くとしても、時代を越えて求められる論理的思考力を身に付ける必要があります。論理的思考力を育むプログラミング教育が、全小学校で始まります。

Q1 時間割に「プログラミング」という授業ができるのですか？

A1 いいえ。新しい教科として始まるのではなく、算数や理科、総合的な学習の時間など、既存の教科等の中で学習していきます。

Q2 プログラミング教育で身に付ける力はどんなことですか？

A2 やりたいことを実現させるための手順を論理的に考える力や、試行錯誤しながら工夫して取り組もうとする意欲などです。



谷原小学校による授業実践

【問合せ】教育指導課 指導主事(電話5984-5759)

地域の力で学校の教育活動を充実させるために 区立小中学校・幼稚園で「学校・地域連携事業」を進めています

学校・地域連携事業は、地域の多様な人材を活用して、学校の教育活動の充実を目指すものです。事業実施4年目となる令和元年度は、昨年度に引き続き、区立の全小中学校・幼稚園で実施し、更なる活動の充実を目指しています。

各校には、地域と学校の橋渡し役として「学校支援コーディネーター」を配置しています。学校支援コーディネーターは、学校のニーズに応じて、地域の方への協力依頼や協力時のサポートなどを行います。



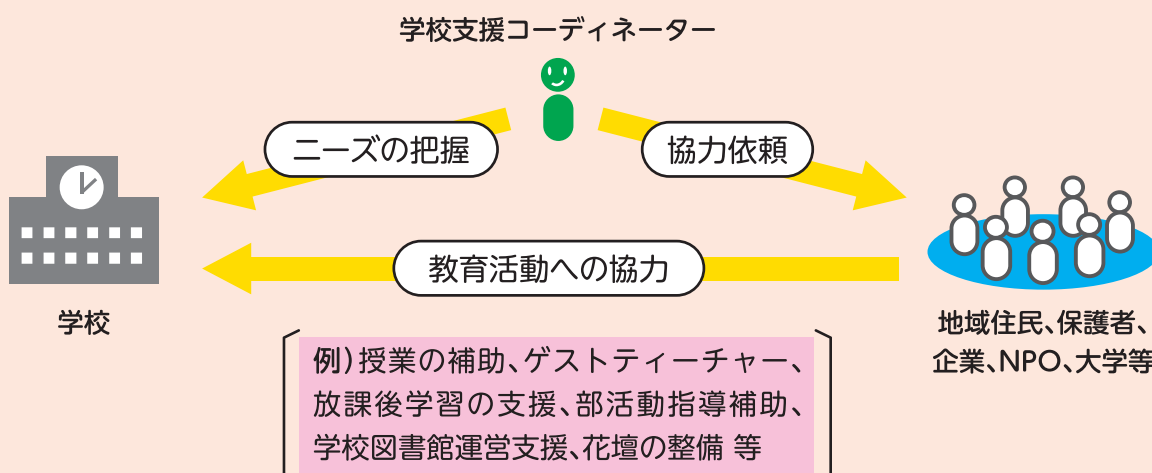
ゲストティーチャー



放課後学習の支援

学校では、地域の方が様々な分野でご活躍されています

【問合せ】教育指導課 管理係(電話5984-5746)



練馬の子供たちの学力と体力の状況

毎年、国が学力を調査し、都が体力を調査しています。今年度の調査概要は以下のとおりです。

【全国学力・学習状況調査】

- 1 実施日 平成31年4月18日(木)
- 2 調査対象 (1)小学校全65校の第6学年全児童
(2)中学校全33校の第3学年全生徒
- 3 主な調査事項 (1)国語
(2)算数または数学
(3)英語※中学校のみ



【東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査】

- 1 実施日 原則として令和元年の6月中
- 2 調査対象 (1)小学校全65校の全ての児童
(2)中学校全33校の全ての生徒
- 3 主な調査事項 (1)身長・体重
(2)握力・上体起こし等8種目



令和元年度の小学校6年生と中学校3年生の学力と体力の結果は次のとおりです。

〈学力〉 ※数値は平均正答率(単位は%)。全国のみ小数第一位までの表記となっている。

調査対象	小学校6年生		中学校3年生		
	国語	算数	国語	数学	英語
練馬区	66	72	75	64	61
東京都	65	70	74	62	59
全国	63.8	66.6	72.8	59.8	56.0



〈体力〉 ※ボール投げは、小学生はソフトボール、中学生はハンドボールで測定

性別・学年	調査対象 (全国は平成29年度)	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)
男子・小6	練馬区	19.1	22.1	35.1	44.6	57.8	8.9	160.0	24.2
	東京都	19.2	21.9	35.6	45.0	56.7	8.9	162.3	24.4
	全国	20.02	22.05	35.43	46.98	64.48	8.79	165.19	26.81
女子・小6	練馬区	19.1	21.1	40.8	43.0	46.0	9.1	153.2	14.9
	東京都	19.1	20.6	41.1	42.9	44.9	9.1	154.4	14.6
	全国	19.58	20.44	39.96	44.35	50.94	9.12	156.68	16.33
男子・中3	練馬区	33.3	29.4	44.5	54.9	90.2	7.6	206.7	22.3
	東京都	33.4	29.4	45.8	55.1	89.1	7.6	209.5	22.9
	全国	34.90	30.44	47.73	55.92	96.64	7.44	212.56	23.82
女子・中3	練馬区	24.9	25.5	46.4	48.1	58.8	8.7	169.8	13.6
	東京都	24.8	25.3	47.2	48.1	57.3	8.7	171.4	13.5
	全国	25.59	25.03	48.15	48.56	61.19	8.58	173.83	14.43

学力も体力も、結果を分析し課題改善を図るための委員会を立ち上げています。

協議した成果を報告会にて全校に広く周知し、授業の工夫を進めていきます。

【問合せ】教育指導課 指導主事(電話5984-5759)

石神井公園ふるさと文化館には楽しいイベントがいっぱい♪

練馬区立石神井公園ふるさと文化館では、練馬の歴史を学んだり、四季折々の楽しいイベントに参加できます。

いつでも

ねりまクイズ

練馬に関するクイズで100点をとるとネリキングカードをプレゼント!100点を10回とるとスーパーネリキングに!

目指せ!
スーパー
ネリキング



土器などの出土品や工芸品、練馬大根などの資料を展示しています。さわたり、遊んで学べる展示もあります!

毎週開催

ふれあい土曜事業

ものづくりや体験ができるイベントです。



2月8日(土)
貝合わせを
作って遊ぼう

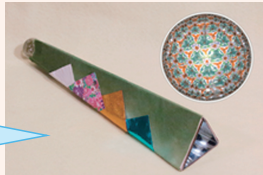
2月29日(土)
桃の節句を楽しむ
ひな祭り



春・夏・正月事業

学校のお休みに合わせて春・夏・お正月休みに実施します。

3月22日(日) ビー玉万華鏡作り



ほかにも博物館ならではの展覧会やひな祭りなどの「季節体験事業」、歴史や自然などをテーマとした「ふるさと文化講座」を開催しています。

ご家族やお友達と遊びに来てください!

【問合せ】ふるさと文化館(電話3996-4060)

【ふるさと文化館のホームページはこちら】

<https://www.neribun.or.jp/furusato.html>



第38回練馬区学校保健大会を開催

令和元年12月5日に練馬文化センターで、保護者、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、区立学校の教職員など約450人が参加して、「練馬区学校保健大会」を開催しました。学校保健大会は学校保健関係者が一堂に会し、学校保健の課題について共通理解を広め一層の協力を推進するため年1回開催しております。

大会では、学校医部会が、「たばこ対策について～練馬区医師会の取組も含めて～」をテーマに研究発表を行いました。主に子供たちの受動喫煙の被害を防止する取組についての発表となりました。

また、「今、学校で始まる『がん教育』」をテーマに、東京女子医科大学がんセンター長の林和彦先生による特別講演もありました。今後の学校におけるがん教育の充実につながる講演となりました。

これからも、このような機会を通して、学校保健関係者の相互理解を深め、連携を図ることで、子供たちの健全育成につなげていきたいと思います。



【問合せ】保健給食課 学校保健係(電話5984-5729)

～貫井保育園と地域の関わり～ 第四商業高等学校との交流

貫井保育園

貫井保育園の近くに都立第四商業高等学校(以下、四商)があります。近隣の小学校よりも近い距離にあるので、数年前からずっと交流が続いています。四商では、チャボを飼育しており小さいクラスの子供たちの絶好のお散歩コースとなっています。また、春の体育祭では、年長児が見学に行き、迫力ある大縄跳びに刺激を受け、保育園でもすぐに大縄跳びが始まりました。憧れが意欲へと繋がり、「できるようにになりたい」と一人ひとりが目標を持ち取り組んでいる姿がありました。



秋には、四商の防災訓練があり、その中で一緒に訓練を行っています。大きな地震を想定し、高校生が避難誘導に力を貸してくれるというのですが、まずはお互いが慣れるところから始めます。一緒に遊びを楽しむ中で、「何かあったら、大きいお兄さん、お姉さんがみんなのことを助けに来てくれるんだよ」と伝えていきます。それが子供たちの安心感につながります。

高校生がボランティアで披露してくれたフラダンスでは、一緒に楽しい時間を共有するだけでなく、後日その体験がごっこ遊びで再現される姿があり、主体的な活動へとつながっていきました。小さいクラスから年長児まで、交流の方法は様々ですがその関わりの中で、人と関わる喜びを育んでいる子供たちです。

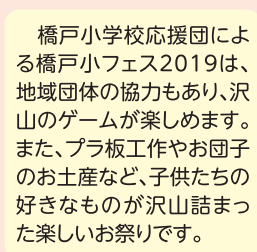


これからみんなで
飛行機に乗って、
ハワイに行きまー
す！

【問合せ】 保育課 管理係(電話5984-5839)

学校応援団の紹介 No.31 ～橋戸小学校応援団～

「学校応援団」は、地域の方々による「ひろば事業」「開放事業」を通じて放課後の児童の見守り等を行っています。今回は、昨年11月に橋戸小学校で行われた学校応援団まつりについて紹介します。



コップを素早く積み上げるスポーツスタッキングも行われました。年齢や性別を問わず、楽しめる競技で、大好評でした。

魚釣りゲームでは、沢山の魚を釣りながらゴールを目指します。中にはクジラなど、大物を釣り上げる子供の姿も!!

体育館でも沢山のゲームが行われています。ボールをうちわで仰いで、高得点を狙いますが、なかなか思い通りにいきません!

【問合せ】 子育て支援課 学校応援団・開放係(電話5984-1057)

令和2年度ジュニアリーダー 養成講習会の受講生を募集します

小学5・6年生と中学生を対象に、地域や学校などでの仲間づくりのリーダーとして役立つよう、グループ活動の楽しさやルール、レクリエーション活動の技術や知識などをキャンプなどの体験をしながら学ぶジュニアリーダー養成講習会(年9・10回)の受講生を募集します。運営・指導は練馬区青少年委員会と、ジュニアリーダー養成講習会を修了した高校生以上の青年リーダーが行います。受講修了者は、地域のボランティア活動などにも参加しています。



キャンプファイヤーの様子



レクリエーション活動の様子

詳しくは、区立小中学校で配布する募集案内または区ホームページをご覧ください。
※区立小中学生以外の方はお問い合わせください。
※ホームページについては、「練馬区ジュニアリーダー養成講習会」で検索してください。

【ホームページアドレス】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/seishonen/juniorleader/index.html>



【問合せ】 青少年課 青少年係(電話5984-4691)

～令和元年度 練馬区教育委員会児童・生徒表彰～

練馬区教育委員会では、さまざまな活動の場において一生懸命努力している子供たちを応援するため、児童・生徒表彰を行っています。

令和元年度は、スポーツ・文化芸術などで活躍した、個人262名と団体7組の表彰者を決定しました。表彰状は各学校で授与されます。

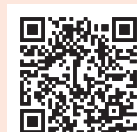
対象となった児童・生徒の氏名などの詳細については、QRコードを読み取るか、区ホームページから「練馬区児童・生徒表彰」で検索してください。



【ホームページアドレス】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/gakko/hyoesha.html>

【問合せ】 教育総務課 庶務係(電話5984-5609)



教育委員に坂口節子氏が再任

令和元年10月16日に坂口節子氏が教育委員に就任しました。
坂口氏は再任で2期目となり、任期は令和5年10月15日までの4年間です。

新しい年を迎えて～教育委員会からのごあいさつ～



新年に寄せて 教育長 河口 浩

オリンピック・パラリンピックイヤーが始まりました。56年前、小学校6年生だった私は家の前の国道を走る聖火ランナーに夢中で小旗を振り、テレビの前で選手たちに声の限りの声援を送っていました。あの時の胸の高鳴りを忘れることはできません。今年、子供たちはどんな感動を経験し、どんな思い出を残すのでしょうか。教育委員会も、素晴らしいレガシーを子供たちに残せるよう努力してまいります。



言葉がけに、心の思いを 委員 新井 良保

イチヨウの黄色が心に残る学校で、特別支援学級研究発表会が開かれました。
公開授業での先生と子供とのかかわりに感動しました。運動する楽しさを味わえるよう遊具環境や言葉がけを工夫しました。そのことが子供の笑顔や動きに表れていました。
先生の心の思いが子供に響いたからだと思います。嬉しいことに全小中学校に特別支援教室が開設されました。今後とも、心の思いを授業に！



本や新聞を読んで言葉の貯金を 委員 坂口 節子

6年生と給食をご一緒しました。「本を読むのが楽しみ」というのを、嬉しく聞きました。今SNSやスマホで、短い会話が飛び交っていて、本を読んだり、ましては書いたりする力が落ちています。
新聞を読み、社会への関心を広げる体験、読書活動で友だちと話し合うことで、言葉はぐんぐん広がり、蓄えられます。そして自分の心の内を豊かに表現する力の素となっていくでしょう。



新しい教育の推進 委員 高柳 誠

新教育要領による幼稚園教育が今年度から始まりました。新学習指導要領による小学校教育が来年度から、中学校教育が再来年度から全面实施されます。そのために、各園・各学校で教育課程の編成や学習内容・方法の研究を推進しています。
新しい教育を進め、子供たちに確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成し、全ての子供が夢や目標をもって成長していくことができるよう教育委員として努めてまいります。



未来へ 委員 伊神 泉

ICT教育によって、これから子供たちが受ける学びが大きく変わるでしょう。
ICT機器を使った授業に、先生、児童、生徒が、集中し一緒に作り上げている授業を何度も見学させていただきました。将来この子供たちは、色々なことを経験し、成長していくのかと思うと、楽しみでなりません。
挑戦し続ける子供たちを、応援する大人の一人として力を尽くしたいと思います。

出前教育委員会を実施しています

教育委員会の役割や仕組みについて理解を深め、より身近に感じていただくために、教育委員が区立学校に出向いて会議を開く出前教育委員会を実施しています。今年度は、旭丘小学校(5月)、開進第四中学校(7月)、富士見台小学校(11月)、光が丘夏の雲小学校(11月)の4校で行いました。
また、学校で出前教育委員会を行う際には、教育委員が児童・生徒や保護者の方々から直接、意見や要望をお聞きする意見交換会も併せて実施しています。
意見交換会でいただいた質問の一部を要約してご紹介します。

《児童》

質問：なぜ小学校の授業時間は45分間なのですか。

回答：文部科学省が全国の学校に示している時間で、多くの小学校が1時間の授業を45分としています。授業の時間が短すぎると、先生が授業の内容をしっかりと教えられませんか、長すぎると、皆さんが疲れてしまい集中力が続かなくなってしまう。45分は、みなさんが学習に集中して取り組むのにふさわしい時間と言えます。

《児童》

質問：なぜ電子黒板を導入したのですか。

回答：令和2年度から、授業のやり方を定めている学習指導要領が新しくなり、今後、プログラミング学習や、グループで問題解決に取り組む協働学習などが授業で行われるようになります。授業のあり方が変化するため、よりわかりやすい授業を実現するために、電子黒板などのICT機器を今年の夏に全小中学校に配備しました。

《生徒》

質問：中学生には選挙権がないのに、選挙啓発のポスターを描くのはなぜですか。

回答：より多くの人が投票に参加し、選挙を通じて私たちの意見が政治に反映されるよう、様々な取組がされており、その一つが「明るい選挙啓発ポスターコンクール」です。皆さんが描いたポスターを見ることで、投票をしようとする有権者が増えることが期待できます。また、ポスターを描くことを通して、近い将来、有権者になる皆さんにも選挙について興味をもってもらいたいという願いが込められています。

《保護者》

質問：6年生まで預かってくれる学童保育を学校施設内に作って欲しいです。

回答：区では、高学年を含む全ての子供たちの放課後の居場所として、「ねりっこクラブ」を推進しています。「ねりっこクラブ」は、学校内施設を活用して、保育を必要とする児童を対象とした「ねりっこ学童クラブ」と当該小学校の児童ならだれでも利用できる「ねりっこひろば」を一体的に運営する事業です。現在、小学校65校のうち19校で実施しており、令和2年4月から新たに8校を加え、27校で実施します。全ての小学校で実施できるよう取り組んでいます。



意見交換会の様子(開進第四中学校)



教育委員も一緒に給食をいただきました(富士見台小学校)

※ 意見交換会の概要はホームページに掲載しています。

【ホームページアドレス】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/kyoikuinkai/ikenkoukankai.html>

【問合せ】教育総務課 庶務係(電話5984-5609)



お詫び

昨年12月、練馬区が利用する民間データセンターの機器が故障した影響により2学期の通知表の発行が遅れ、児童生徒、保護者の皆様に、大変ご迷惑をおかけいたしました。練馬区教育委員会として深くお詫び申し上げます。

<教育だより ホームページアドレス>

<<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/gakko/kyoikudayori.html>>

